

## 目標達成計画

作成日: 平成 27 年 5 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	その人らしい生活を送っていただく為、御入居者・御家族からの聴き取りは勿論、毎日の気付きの中から、思いや意向の把握に努めているが、スタッフ一人一人が知り得た情報を、全体で十分に共有出来ていない。スタッフ全員が情報を共有出来るよう、記録や伝達方法の工夫が必要。	スタッフ全員が情報を共有でき、御入居者の望む生活の実現に向けて、チームでケアにあたる事が出来るようになる。	『センター方式シート』の活用 御本人が話されたこと、御家族からの情報、スタッフの気付き等、知り得た情報を個別シートに日々記入していく。収集した情報は、ケアカンファレンスの中でスタッフに周知しながらケアに活かしていく。	6ヶ月
2	54	日中、ポータブルトイレが目につれない配慮・工夫や、持ち込み家具や私物の少ない御入居者への、居心地良い居室空間作りが必要。	プライバシーへの配慮や、その人らしい居室作りに取り組むことで、より心地良く生活していただけるようになる。	ポータブルトイレについては、夜間のみでの設置の検討及び、布などのカバーで覆う等の工夫を施す。またご本人馴染みの家具や私物については、御家族に相談し協力をいただくと共に、御本人の好みに応じた居室の設えとなるよう工夫する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月